

令和2年度（2020年度）版 みんなと学ぶ 小学校国語 年間指導計画作成資料 【6年】

各ページとも、表形式で示している。上部に表組みの項目を置いてあるので、それによってご覧いただきたい。

■月…目安としての配当月を示した。（ ）内には、その月の合計時数を付している。

■単元・教材名、時数、指導目標

・単元・教材名…単元番号及び単元名・教材名を示した。

・時数…単元や教材のまとまりごとの時数を示した。

例：2時間（知技①書①）…知識及び技能1時間、書くこと1時間の配分を示す。

・指導目標…単元及び教材を通して育成したい資質・能力をまとめ、目標として示した。

※学習指導要領に示した指導事項についての表示方法は以下の通り。なお、重点指導事項には下線を付している。

〔知識及び技能〕

(1)…言葉の特徴や使い方に関する事項

(2)…情報の扱い方に関する事項

(3)…我が国の言語文化に関する事項

〔思考力・表現力・判断力等〕

A…話すこと・聞くこと

B…書くこと

C…読むこと

■主な学習活動…単元及び教材の主たる学習活動を示した。傍らにある数字は、学習の順序を想定したものである。

■評価規準…学習活動に即した評価規準を以下の三つの観点で示した。指導事項の確実な育成を図るという観点から、文言については今後変更する可能性がある。

表示方法については以下の通り（言語活動例においても同様）。

【知識・技能】…「知識及び技能」の観点及び、学習指導要領や学習活動との対応

【思考・判断・表現】…「思考・判断・表現」の観点及び、学習指導要領や学習活動との対応

※冒頭には、例えば「読むことにおいて」など、領域名を明記している。

【主体的に学習に取り組む態度】…「学びに向かう力、人間性等」のうち、観点別評価を通じて見取ることができる部分である「主体的に学習に取り組む態度」の観点

※知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている側面や、自らの学習を調整しようとする側面を一体的に見取ることが想定されている。

本資料は、令和元年（2019年）9月10日版です。

単元ごとの目標、主な学習活動、評価規準などは、今後変更することがあります。予めご承知おきください。

年間指導計画案(6年上巻)

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
4月 (12)	出発 1時間(読①) 教科書: 6上pp.①～1 ◇吟味された言葉や表現の工夫に着目しながら様子を思い浮かべ、感じたことが伝わるよう、表現豊かに音読することができる。(知技: (1)エ, C: (1)エ)	1 「出発」を音読し、感想や表現の工夫について出し合う。 2 作者の、新しい出会いに対する緊張感を楽しもうとする思いを想像し、感じたことをふまえて、工夫して音読する。 3 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・常体による直接的な表現などの工夫を捉え、作品から受け取ったことをもとに、表現豊かに音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、作品の全体像を想像しながら読み、緊張感と期待感を合わせもった、世界観を意識させる表現の効果を考えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・読んで感じたことをもとに、進んで朗読しようとしている。
	言葉でつながる プラス思考でアドバイス 2時間(話聞②) 教科書: 6上pp.14～15 ◇友達の悩みの解決策を話し合い、見方を変えてみることで、考えを広げることができる。(知技: (1)ア, A: (1)土)	1 学習課題と活動の進め方を確認する。 2 悩みや他の人からアドバイスをもらいたいことをカードに書く。 3 集めた中からカードを一枚ずつ引き、みんなで解決策を話し合う。 4 アドバイスをしたり、見方を変えて話し合ったりする良さについて伝え合う。 5 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・相手と良好な関係をつくる言葉の働きに気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にして話し合い、考えを広げている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・友達の悩みを解決するために、進んで様々な視点から考えを出し合い、言葉がもつ良さを感じようとしている。
	1 変化の要因をとらえて読もう 誓約書 6時間(読⑥) 教科書: 6上pp.16～29 ◇人物相互の関係や過去の出来事とを結び付けながら作品の全体像をつかみ、人物の心情とその変化の要因を捉えることができる。(知技: (1)ケ, (2)イ, C: (1)イ, エ, オ, (2)イ)	1 全文を読み、めあてを確かめる。 2 初発の感想を交流する。 3 人物関係図にまとめ、全体像をつかむ。 4 人物の心情とその変化の要因を、現在と過去との出来事をつなぎから捉える。 5 提示された観点をもとに感想を伝え合う。 6 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・読んで考えたことをふまえて、表現豊かに音読している。 ・人物同士の関係をつかむために関係図にまとめている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、描写をもとに人物の相互関係や心情の変化を捉えている。 ・「読むこと」において、過去と現在の二重構造の仕組みの効果を捉え、作品の全体像や人物像を想像している。 ・「読むこと」において、作品の構造や表現の効果などについて、考えたことをまとめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・人物同士の関係、回想形式の語りなどを考えながら、進んで人物の心情の変化の要因を捉えようとしている。
	言葉のきまり1 前後のつながりを示す言葉 3時間(知技③) 教科書: 6上pp.30～33 ◇接続語の種類や働きを知り、思考に関わる語句について理解することができる。(知技: (1)オ, カ)	1 教科書の解説を読み、接続詞の種類や働きについて知る。 2 p.32の課題を通して、思考に関わる語句(接続語)の働きについて考え、友達と確かめ合う。 3 p.33の解説を読み、接続助詞について知る。 4 文を書きかえる課題を通して、文と文との接続の関係を確かめ合う。	●知識・技能 ・思考に関する語句の量を増やし、文の中で使っている。 ・文と文との接続の関係について理解している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで文と文との接続の関係を理解し、これまでの学習を生かして、適切に使うようとしている。
5月 (11)	季節のたより(春) 1時間(書①) 教科書: 6上pp.34～35 ◇春を表す言葉とその意味を知り、春や季節の移り変わりから感じたことをもとに、短歌を作ることができる。(知技: (3)乙, B: (1)カ, (2)イ)	1 教科書を見て、二十四節気の解説や春の唱歌を読む。(興味に応じて春にまつわる他の唱歌を集めても良い。) 2 春から広がるイメージや、季節の移り変わりについて、感じたことを短歌にする。	●知識・技能 ・近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、今までの学習を生かして、短歌を作ろうとしている。
	言葉の泉1 漢字の成り立ち 2時間(知技②) 教科書: 6上pp.36～38 ◇象形文字、指事文字、会意文字、形声文字の由来、特質などについて理解することができる。(知技: (3)乙)	1 教科書pp.36～37の解説や課題を通して、既習の四つの文字の成り立ちについて確かめ合う。 2 形声文字の音符について知り、共通する音について考え、友達と確かめ合う。	●知識・技能 ・漢字の由来、特質などについて理解している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで漢字の成り立ちについて理解し、学習課題に沿って、漢字の成り立ちや音符について考えようとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
	言葉をつないで文を作ろう1 1時間(書①) 教科書:6上p.39 ◇5年生までに配当されている漢字を使った文を書き、読み返して文を整えることができる。〈知技:(1)エ、B:(1)オ〉	1 教科書の絵を見て様子を想像し、説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い、課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い、記述の適切さや漢字が正しく使われているかを確かめ合う。	●知識・技能 ・5年生までに学んだ漢字を正しく使って、文を作っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、作った文を読み返して文を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで提示された漢字を使い、今までの学習を生かして、文を作ろうとしている。
	言葉を受け止めよう 話し合ってまとめよう 2時間(話②) 教科書:6上pp.40～41 ◇話し合いの目的を意識して話し合い、互いの立場を考慮しながら、考えを一つにまとめることができる。〈知技:(1)ア、A:(1)エ、オ〉	1 学習課題と活動の進め方を確認する。 2 それぞれの消しゴムの特徴を出し合う。 3 消しゴムの特徴を、教科書の例を参考に、表に整理する。 4 消しゴムを選ぶ目的や条件を確かめ、グループで話し合って一つに絞る。 5 納得するまで話し合うことの良さについて話し合う。 6 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・相手との関係を築く言葉の働きに気が付いている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にして、それぞれの意見を多面的に検討し、考えをまとめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・言葉を通して積極的に友達と関わり、様々な視点からの意見をまとめようとしている。
	2 視野を広げて読もう AIで言葉と向き合う AI(人工知能)と私たちの未来 5時間(読⑤) 教科書:6上pp.42～53 ◇筆者の意見と事例との関係を捉えるとともに、論の進め方を考えながら要旨をまとめ、自分の見方を広げることができる。〈AIで言葉と向き合う 知技:(1)オ、カ、C:(1)ア、ウ、オ、(2)ア AI(人工知能)と私たちの未来 C:(1)エ、(2)ア〉	1 全文を読み、めあてを確かめる。 2 人工知能やオノマトペについて知っていることを自由に出し合う。 3 問いの文とその答え、筆者の意見を、表にしてつかむ。 4 事例と筆者の意見との関係を押さえ、要旨をまとめる。 5 読んで理解したことをもとに、自分の考えをまとめる。 6 人工知能と人間との関わり視点で、未来について考える。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・オノマトペを通して、語感について意識している。 ・尾括型の論の進め方を捉えたり、事例と筆者の意見とを原因と結果の関係で捉えたりしている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、挙げられた事例と筆者の意見との関係を捉え、要旨をまとめている。 ・「読むこと」において、文章と事例のデータなどを結び付けて考えるとともに、論の進め方を吟味し、筆者の意見に対する自分の考えをまとめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・筆者の意見に説得力をもたせるための論の進め方について、進んで考えようとしている。
6月 (13)	文章の書き方・まとめ方 さまざまな表現の工夫 4時間(書④) 教科書:6上pp.54～56 ◇様々な表現技法を知り、詩や作文の表現を工夫して書くことができる。〈知技:(1)エ、ケ、B:(1)ア、エ〉	1 pp.54～55上段にある詩を読み、使われている技法について出し合う。 2 pp.54～55下段の解説を読み、使われている表現の工夫について知る。 3 p.56の作例を読み、使われている表現の工夫について、気付いたことを話し合う。 4 日常生活の中から題材を選び、表現を工夫しながら作文や詩を書く。 5 友達と読み合い、内容や表現の良さについて感想を伝え合う。 6 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 ・音読や朗読を通して、表現の工夫による効果を確かめている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、見つけたり考えたりしたことから題材を選び、詩や作文に書くことを選んでいる。 ・「書くこと」において、書いた詩や作文を読み返し、表現の工夫に着目して確かめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・表現技法とその効果を考えながら、進んで詩や作文を書こうとしている。
	漢字の広場1 1時間(知技①) 教科書:6上p.57 ◇6年生に配当されている漢字を読み書きし、文中の使い方を理解することができる。〈知技:(1)エ〉	1 傍線の言葉に注意して、教科書の例文を読む。 2 新出漢字の意味を確かめ、書く練習をする。 3 漢字や文の間違いを正す。	●知識・技能 ・6年生に配当されている漢字を読み書きし、文の中で使っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで6年生に配当されている漢字を読み、今までの学習を生かして、文の中で使おうとしている。
	3 立場を決めて討論しよう パネルディスカッションをしよう 8時間(話⑧) 教科書:6上pp.58～65 ◇役割や意図を明確にして計画的に話し合い、自分の考えを深めることができる。〈知技:(1)ア、オ、(2)イ、A:(1)ア、イ、ウ、エ、オ、(2)ウ〉	1 学習課題とめあてを捉え、見通しをもつ。 2 パネルディスカッションの役割や進め方を理解する。 3 日常生活の中から、話し合うテーマを分類して決める。 4 テーマに沿って、グループの提案内容を検討する。 5 役割を決め、発表のための資料を準備しながら考えをまとめておく。 6 他のグループの提案に対する質問や意見を検討する。 7 司会、パネリスト、フロアに分かれ、パネルディスカッションを行う。 8 感想を発表し合うなどして、学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・相手との関係を築く言葉の働きに気付いている。 ・思考に関わる言葉を意識して、分かりやすく話している。 ・図化してテーマを分類したり、提案内容を表画して整理したりしている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、提案内容を分類するなどして整理し、考えが伝わるように資料を活用するなどして表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の伝えたいことを理解し、自分の考えと比べながら考えをまとめている。 ・「話すこと・聞くこと」において、司会者、パネリスト、フロアそれぞれの立場や役割を理解し、テーマに沿って話し合うことができる。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
			々に沿って計画的に話し合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・言葉を通して積極的に話し合いに参加し、計画的に話し合うことの良さを理解しようとしている。
7月 (10)	季節のたより(夏) 1時間(書①) 教科書:6上pp.66～67 ◇夏を表す言葉とその意味を知り、夏や季節の移り変わりから感じたことをもとに、短歌を作ることができる。〈知技:(3)ア、B:(1)カ、(2)イ〉	1 教科書を見て、二十四節気の解説や夏の唱歌を読む。(興味に応じて夏にまつわる他の唱歌を集めて良い。) 2 夏から広がるイメージや季節の移り変わりについて、感じたことを短歌にする。	●知識・技能 ・近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、今までの学習を生かして、短歌を作ろうとしている。
	類推しよう 経験や知識をもとに導き出そう 2時間(知技①読①) 教科書:6上pp.68～71 ◇経験や知識をもとに類似点を見出し、類推による情報と情報との関係について理解することができる。〈知技:(2)イ、C:(1)オ〉	1 p.68の文章を読み、類推の関係を理解する。 2 pp.68～69の類推ゲームの課題に取り組む。 3 自ら考えた類推の関係をカードに書き、発表し合う。 4 pp.70～71を読み、類推したことを、話型にしたがって説明し合う。 5 類推することの良さについて話し合い、学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・類似する点をもとに類推することで、情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、自分の経験や知識をもとに読み取ったことを類推し、自分の考えをまとめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・自分の知識や経験をもとに、進んで類推しようとしている。
	言葉をおくろう 電子メールで質問しよう 2時間(書②) 教科書:6上pp.72～73 ◇相手や目的に応じて適切な電子メールを書くことができる。〈知技:(1)ア、キ、B:(1)イ、ウ、オ〉	1 電子メールで質問するときの書き方を確かめる。 2 電子メールで書きたいことをメモに書き留める。 3 p.73の例を参考にして、メモをもとに構成を考え、電子メールを書く。 4 書いた文章を読み返し、文章を整える。 5 宛先や件名を入力し、電子メールの送信の前に、再度書き漏れがないか確認する。 学習の振り返りをする。 6	●知識・技能 ・相手とのつながりをつくる言葉の働きに気付いている。 ・相手に応じた適切な敬語を使っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、前文・本文・末文の構成で、電子メールの文章内容を考えている。 ・「書くこと」において、目的に合った文章になっているかを確かめ、文章を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・電子メールの形式に合わせ、進んで電子メールの文章を書こうとしている。
	言葉をつないで文を作ろう2 1時間(書①) 教科書:6上p.74 ◇5年生までに配当されている漢字を使った文を書き、読み返して文を整えることができる。〈知技:(1)エ、B:(1)オ〉	1 教科書の絵を見て様子を想像し、説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い、課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い、記述の適切さや漢字が正しく使われているかを確かめ合う。	●知識・技能 ・5年生までに学んだ漢字を正しく使って、文を作っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、作った文を読み返して文を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで提示された漢字を使い、今までの学習を生かして、文を作ろうとしている。
	読書に親しもう 絵を見て語り合おう フリードルとテレジンの小さな画家たち 読書の部屋 4時間(知技②読②) 教科書:6上pp.75～93 ◇作品の全体像を捉えたとともに、文章と絵とのつながりを考えることで感想をもち、読書の良さに気付くことができる。〈知技:(1)カ、(3)オ、C:(1)エ、オ、(2)イ〉	1 活動の見通しをもち、全文を読む。 2 絵を選び、作者の思いや作品の全体像と関連付けて話し合う。 3 絵を描いた人たちの心情を想像し、感じたことを伝え合う。 4 学習の振り返りをし、興味のある作品を読む。 5 読んだ本の読書記録をまとめ、今後の読書に広げる。	●知識・技能 ・ノンフィクションの作品に関心をもち、自分の考えを広げることの良さに気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、作者の視点や作品の全体像を捉え、自分の考えをまとめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・作品を通して自分の考えを深め、進んで読書の良さを実感しようとしている。
9月 (14)	詩を味わおう 名づけられた葉 きのうより一回だけ多く 2時間(読②) 教科書:6上pp.94～97 ◇表現の工夫を味わって想像したり、作者の思いを感じ取ったりしながら詩を読み、感想を伝え合うことができる。〈知技:(1)エ、ケ、C:(1)エ、カ、(2)イ〉	1 「名づけられた葉」の、表現の工夫や作者のメッセージについて考え、感じたことをふまえて音読する。 2 「きのうより一回だけ多く」を音読し、表現の工夫や作者の思いについて考え、感想を伝え合う。 3 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・擬人法や反復などの表現の工夫に気付き、感じたことをもとに、表現豊かに音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、情景を想像したり表現の効果を考えたりしながら、作者の思いや伝えたいことを受け取り、自分の考えを伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・詩の世界や作者の思いを捉え、進んで詩を味わおうとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
	文章の書き方・まとめ方 文章構成の効果を考える 4時間(書④) 教科書:6上pp.98～101 ◇自分の考えを伝えるための、適切な文章の型や書き表し方を考え、説得力のある文章を書くことができる。〈知技:(1)力, B:(1)イ〉	1 教材文を読み、論の進め方の型の違いを知り、それぞれの型の伝わり方をつかむ。 2 これまでに学んだ文章の三つの型(頭括型・尾括型・双括型)を思い出し、伝わり方の違いを確認する。 3 pp.100～101の文章例を読み、伝わり方の違いや気付いたことなどを出し合う。 ・話題提示と問題提起から主張への論の展開。 ・主張を提示してからそれを支える事例などを述べ、予想する反論を加えて結論に導く。 など 4 「しかし」「例えば」「確かに」などの言葉を使う効果について考える。 5 自分が日々感じていることの中から書くことを選び、例2の論の進め方で、自分の考えを書く。 6 友達と読み合い、説得力をもたせるための効果的な伝え方について、感想を伝え合う。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・文と文とのつながり、文章の構成や展開など、論の進め方について理解している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、自分の意見に説得力をもたせ、論の展開や書き表し方を工夫して文章を書いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・自分の意見を伝えるための、効果的な文章の書き方を考えようとしている。
	言葉のきまり2 文末の表現 1時間(知技①) 教科書:6上pp.102～103 ◇述語が文末に位置する日本語の語順の特徴を理解し、文末表現を適切に使うことができる。〈知技:(1)力〉	1 教科書の例文を比べて、文末表現の違いによる意味の違いを確認め、課題に取り組む。 2 文末の声の調子を変えることで意味が変わることを、実際に声に出して確かめる。 3 教科書の解説を読み、敬体と常体について知り、課題に取り組む。	●知識・技能 ・文の中での述語の位置など、語順について理解している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで文末表現の違いについて理解し、今までの学習を生かして、適切な文を書こうとしている。
	4 物語の全体像を読もう きつねの窓 6時間(読⑥) 教科書:6上pp.104～121 ◇描写をもとに、人物像や心情の変化を捉えるとともに、象徴されたものや語り手による表現の効果を押さえ、自分の考えを伝え合うことができる。〈知技:(1)力, ケ, C:(1)イ, 丑, オ, (2)イ〉	1 全文を読み、めあてを確認める。 2 初発の感想を出し合う。 3 不思議な世界への入り口と出口に着目し、物語全体のあらましを確認める。 4 人物像と人物の相互関係を押さえる。 5 「窓」が象徴するものの意味を考える。 6 人物の心情の変化を捉える。 7 額縁構造や一人称視点、象徴表現、情景描写、語り手の特徴など、様々な観点から作品を吟味して全体像をつかみ、感想を伝え合う。 8 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・語り手の語り手の特徴をふまえて、表現を工夫して音読している。 ・額縁構造や語り手の特徴を意識している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、語り手や情景描写による効果や、象徴されたものの意味などを捉えている。 ・「読むこと」において、人物の相互関係や心情の変化をつかみ、物語から伝わるメッセージについて考えをまとめ、伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・物語の全体像をつかむために、進んで描写から想像したり、語り手や表現方法に着目したりしようとしている。
	漢字の広場2 1時間(知技①) 教科書:6上p.122 ◇6年生に担当されている漢字を読み書きし、文中の使い方を理解することができる。〈知技:(1)丑〉	1 傍線の言葉に注意して、教科書の例文を読む。 2 新出漢字の意味を確認め、書く練習をする。 3 漢字や文の間違いを正す。	●知識・技能 ・6年生に担当されている漢字を読み書きし、文の中で使っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで6年生に担当されている漢字を読み、今までの学習を生かして、文の中で使おうとしている。
10月 (3)	言葉をつないで文を作ろう3 1時間(書①) 教科書:6上p.123 ◇5年生までに担当されている漢字を使った文を書き、読み返して文を整えることができる。〈知技:(1)丑, B:(1)オ〉	1 教科書の絵を見て様子を想像し、説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確認める。 3 提示された漢字を使い、課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い、記述の適切さや漢字が正しく使われているかを確認め合う。	●知識・技能 ・5年生までに学んだ漢字を正しく使って、文を作っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、作った文を読み返して文を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで提示された漢字を使い、今までの学習を生かして、文を作ろうとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
	言葉の泉2 言葉づかいのちがい 2時間(知技②) 教科書: 6上pp.124～126 ◇話し言葉と書き言葉との違いを知り, 相手や場面に応じた適切な言葉遣いで, 話したり書いたりすることができる。(知技:(1)イ, 主)	1 教科書の例文を比べ, 相手や場面に応じた言葉遣いがあることを知る。 2 p.124の課題を通して, 話す相手に応じた適切な言い方について, 友達と確かめ合う。 3 話し言葉と書き言葉の特色について知る。 4 教科書の例文を参考に, 様々な場面における敬語を確かめる。 5 p.126の課題を通して, 適切な敬語表現を考え, 友達と確かめ合う。	●知識・技能 ・話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。 ・日常よく使われる敬語を理解し, 使い慣れている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで話し言葉と書き言葉との違いを理解し, 今までの学習を生かして, 適切な言葉遣いをしようとしている。

年間指導計画案(6年下巻)

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
10月 (13)	土 1時間(読①) 教科書:6下pp.①～1 ◇吟味された言葉や表現の工夫に着目しながら、作者の心の動きや着眼点を捉え、感じたことが伝わるよう、表現豊かに音読することができる。〈知技:(1)ク、左、C:(1)エ〉	1 「土」を音読し、感想や比喻などの表現の工夫について出し合う。 2 作者の着眼点や世界観の広がりについて、感じたことを踏まえて、工夫して音読する。 3 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・比喻などの表現の工夫や、作者の着眼点を捉えて、表現豊かに音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、見立てた世界観の全体像を想像しながら読み、比喻や簡潔な表現の効果を味わっている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・読んで感じたことや気付いたことをもとに、進んで音読しようとしている。
	言葉から想像しよう イメージを短い詩にしよう 2時間(知技①書①) 教科書:6下pp.6～8 ◇イメージしたことを、もとに表現を工夫して短い詩を作ることができる。〈知技:(1)土、ク、B:(1)カ〉	1 pp.6～7にある詩の題名とその題名が付けられた理由について話し合い、イメージしたことを短い詩で表すという学習課題をつかむ。 2 身の回りのものからテーマ(題名)を決め、考えたことや想像したことを、イメージマップに書き出す。 3 書いたイメージマップをもとに、類似した特徴をもった事柄に置きかえ、短い詩を作る。 4 作った詩を読み合ったり、クイズ形式で題名を答え合ったりし、発想のおもしろさや表現の工夫などについて、感想を伝え合う。 5 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、短い詩に表している。 ・比喻や倒置などの表現の工夫に気付き、詩の表現に生かしている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、作った詩の語感を伝え合い、自分の表現の良いところを見つけている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・イメージしたことを、進んで短い詩に表そうとしている。
	1 筆者の提案を読み、意見文を書こう 「本物の森」で未来を守る 9時間(書⑤読④) 教科書:6下pp.9～23 ◇事実と意見との関係を押さえて要旨をまとめ、論の進め方や筆者の意見に対する自分の考えを伝え合うことができる。 ◇違った視点で書かれた複数の文章をもとに自分の考えを深め、自分の立場に合った事例を関連付けて整理し、書き表し方を工夫しながら説得力のある意見文を書くことができる。〈知技:(1)オ、カ、(2)イ、B:(1)ア、イ、ウ、エ、カ、(2)ア、C:(1)エ、ウ、オ、(2)ア〉	1 めあてを確かめ、題名から内容を考える。 2 本文を読み、感想を交流するとともに、筆者の意見を捉える。 3 事例を整理し、筆者の提案理由を考える。 4 筆者の意見に対する自分の意見をまとめる。 5 複数の意見を比べて、自分の考えを深める。 6 自分の考えの根拠となる文を書き出し、表に整理する。 7 意見文を書き、伝え合う。 8 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・思考に関わる語句や文章構成を意識して書いている。 ・事例から自分の考えに合う事柄を書き出し、他の事柄と関連付けて整理している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、目的に応じて書くための事柄を集め、文章の組み立てを考えている。 ・「書くこと」において、自分の考えが伝わるように、引用した文を事実と意見とで区別して書き、書いた文章の感想を伝え合っている。 ・「読むこと」において、事実と意見との関係から、論の進め方や要旨を捉え、自分の考えを伝えていく。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・読んで理解したことをもとに自分の考えをもち、読み手に伝わるように、進んで意見文を書いている。
	季節のたより(秋) 1時間(書①) 教科書:6下pp.24～25 ◇秋を表す言葉とその意味を知り、秋や季節の移り変わりから感じたことをもとに、短歌を作ることができる。〈知技:(3)エ、B:(1)カ、(2)イ〉	1 教科書を見て、二十四節気の解説や秋の唱歌を読む。(興味に応じて秋にまつわる他の唱歌を集めても良い。) 2 秋から広がるイメージや季節の移り変わりについて、感じたことを短歌にする。	●知識・技能 ・近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけていく。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、今までの学習を生かして、短歌を作ろうとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
11月 (15)	言葉の文化を体験しよう 狂言 盆山／漢詩 4時間(知技②読②) 教科書:6下pp.26～35 ◇狂言や漢詩の内容を捉え、音読することで、昔の人のものの見方や感じ方に気付いたり、リズムや言い回しなどの表現を楽しんだりすることができる。〈知技:(1)カ、ケ、(3)ア、イ、ウ、C:(1)エ〉	1 教材文を読み、狂言について知る。 2 「盆山」の朗読CDや映像を視聴し、狂言独特の表現に気付く。 3 「盆山」を音読し、話のすじをつかんだり、表現を楽しんだりする。 4 お話の続きや結末を考え、発表する。 5 演者の声の出し方について考えながら演じたり、感想を交流したりする。 6 様々な伝統芸能について知る。 7 漢詩の解説を読み、「胡隠君を尋ぬ」を音読・暗唱する。 8 繰り返しの表現などから、どのような印象を受けるか、感想を伝え合う。 9 白文の漢字の語順を書き下し文と比べ、違いに気付く。	【狂言 盆山】 ●知識・技能 ・現代と違う言い回しなどに気付き、言葉の響きを楽しみながら、表現豊かに、声に出して読んでいく。 ・狂言の特徴や盆山の話のすじを捉え、昔の人のものの見方や感じ方に気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、登場人物や場面設定をつかみ、「盆山」の全体像を具体的に想像している。 【漢詩】 ●知識・技能 ・漢詩を音読し、昔の人の感じ方にふれたり、リズムや語調を味わったりしている。 ・漢詩の白文と書き下し文との漢字の語順の違いに気付き、日本語の語順の特徴を理解し、外国語へと関心を広げている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・狂言や漢詩に興味をもって音読し、進んで我が国の言語文化への理解を深めようとしている。
	漢字の広場1 1時間(知技①) 教科書:6下p.36 ◇6年生に担当されている漢字を読み書きし、文中の使い方を理解することができる。〈知技:(1)エ〉	1 傍線の言葉に注意して、教科書の例文を読む。 2 新出漢字の意味を確かめ、書く練習をする。 3 漢字や文の間違いを正す。	●知識・技能 ・6年生に担当されている漢字を読み書きし、文の中で使っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで6年生に担当されている漢字を読み、今までの学習を生かして、文の中で使おうとしている。
	言葉をつないで文を作ろう1 1時間(書①) 教科書:6下p.37 ◇5年生までに担当されている漢字を使った文を書き、読み返して文を整えることができる。〈知技:(1)エ、B:(1)オ〉	1 教科書の絵を見て様子を想像し、説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い、課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い、記述の適切さや漢字が正しく使われているかを確かめ合う。	●知識・技能 ・5年生までに学んだ漢字を正しく使って、文を作っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、作った文を読み返して、文を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで提示された漢字を使い、今までの学習を生かして、文を作ろうとしている。
	豊かに表現しよう 「連詩」を発見する 心と言葉でつながろう 6時間(書⑥) 教科書:6下pp.38～45 ◇言葉から想像したことをもとに、つながりを考えて連詩を作ることができる。〈知技:(1)ア、オ、ク、B:(1)ア、イ、カ〉	1 教科書pp.38～41「『連詩』を発見する」を読み、連詩について知る。 2 友達と連詩を作るという学習課題や進め方を確かめる。 3 pp.42～43に例示された作品を読み、連同士のつながりについて気付いたことを出し合い、「4」に続く5行の詩を作る。 4 グループを作り、詩を書く順番とテーマ、詩を作る際の約束事を決める。 5 グループで連詩を作る。 6 作った連詩を読み合い、分かったことや感じたことを伝え合う。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・人と人を結び付ける言葉の働きに気付いている。 ・言葉の感覚を意識して語句を使うとともに、表現を工夫して詩に表している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、感じたことや考えたことから詩のテーマを選び、語や連のつながりを考えながら詩を作っている。 ・「書くこと」において、詩を読み合い、感想を伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・言葉のイメージをつなげ、進んで連詩を書こうとしている。
	対話して読む:物語を通して自分を見つめよう 服を着たゾウ 3時間(読③) 教科書:6下pp.46～54 ◇つぶやくように対話して読んだり、作者のメッセージを考えながら読んだりすることで、作品の読み方を広げることができる。〈知技:(1)ケ、C:(1)イ、エ、オ〉	1 本文を読み、「基本的な手がかり」を確かめる。 2 「つぶやく」を参考にし、問いをもちながら考えたり、共感しながら読んだりする。 3 読んで感じたことや解説文をもとに、感想を伝え合う。 4 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・読んで感じたことが伝わるよう、工夫して音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、人物と周辺人物との相互関係や、人物の言動から、人物像を捉えている。 ・「読むこと」において、ユーモアや暗示性の高い表現をもとに、作品のメッセージを受け取り、自分の考えをまとめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで物語や作者と対話しながら読み、読み方や自分の見方・考え方を広げようとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
12月 (12)	言葉をつないで文を作ろう2 1時間(書①) 教科書:6下p.55 ◇5年生までに配当されている漢字を使った文を書き、読み返して文を整えることができる。〈知技:(1)エ、B:(1)オ〉	1 教科書の絵を見て様子を想像し、説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い、課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い、記述の適切さや漢字が正しく使われているかを確かめ合う。	●知識・技能 ・5年生までに学んだ漢字を正しく使って、文を作っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、作った文を読み返して文を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで提示された漢字を使い、今までの学習を生かして、文を作ろうとしている。
	言葉の泉1 熟語の構成 1時間(知技①) 教科書:6下pp.56～57 ◇三字以上の熟語の構成を理解することができる。〈知技:(1)エ〉	1 教科書を見て、三字以上の熟語の構成や特徴を確かめる。 2 p.57の課題に取り組み、熟語の構成について友達と確かめ合う。 3 身の回りや国語辞典から熟語を探し、それらの構成について調べたことを友達と出し合う。	●知識・技能 ・6学年までに配当されている漢字を読んでいる。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで熟語の構成を理解し、今までの学習を生かして、漢字のもつ意味を考えようとしている。
	2 スピーチをしよう すいせんします、この委員会活動 8時間(話聞⑧) 教科書:6下pp.58～62 ◇推薦する委員会の魅力が伝わるように、話の内容や構成を考えて話すことができる。〈知技:(1)イ、キ、A:(1)ア、イ、エ、(2)ア〉	1 学習課題とめあてを捉え、見通しをもつ。 2 これまでのスピーチ学習について振り返る。 3 委員会の活動内容や魅力について書き出し、表に整理する。 4 スピーチの構成を考え、友達の意見を参考にしながら、構成メモにまとめる。 5 構成メモをもとに、グループ内でスピーチの練習をし、資料や話し方について助言し合う。 6 アドバイスをもとに、スピーチメモをまとめ、資料があれば用意する。 7 スピーチメモをもとに、練習を生かしてスピーチをする。 8 自分のスピーチの工夫点などについて、学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・話し言葉の即時性を理解し、聞き手や場面の状況による話し方の違いに気付いている。 ・敬語について理解し、使っている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、推薦する委員会の魅力について整理し、話す内容が明確になるように構成を考えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・委員会の魅力が伝わるように、話す内容や構成を考え、進んで話している。
	漢字の広場2 1時間(知技①) 教科書:6下p.63 ◇6年生に配当されている漢字を読み書きし、文中の使い方を理解することができる。〈知技:(1)エ〉	1 傍線の言葉に注意して、教科書の例文を読む。 2 新出漢字の意味を確かめ、書く練習をする。 3 漢字や文の間違いを正す。	●知識・技能 ・6年生に配当されている漢字を読み書きし、文の中で使っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで6年生に配当されている漢字を読み、今までの学習を生かして、文の中で使おうとしている。
	読書を広げよう 本は心の道しるべ 読書の部屋 1時間(知技①) 教科書:6下pp.64～67 ◇読書の楽しさや有効性を知り、日常的に読書に親しむことができる。〈知技:(3)オ〉	1 教科書本文を読み、本を読む意義や、読書による興味の広がりについて考える。 2 今までの読書経験を振り返り、読んだ本を書き出し、「本の旅」を参考にして、線をつないで表す。 3 「本の旅」を友達と見せ合い、自分の興味の広がりや考えの深まりなど、気付いたことを交流する。 4 読書の部屋を見て、多様なものの見方や考え方に触れ、興味が広がっていく読書の良さに気付く。	●知識・技能 ・読書をすることの意義や良さに気付き、自分の興味を広げている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで読書による自分の世界の広がりについて考え、読書に親しもうとしている。
1月 (13)	季節のたより(冬) 1時間(書①) 教科書:6下pp.68～69 ◇冬を表す言葉とその意味を知り、冬や季節の移り変わりから感じたことをもとに、短歌を作ることができる。〈知技:(3)エ、B:(1)カ、(2)イ〉	1 教科書を見て、二十四節気の解説や冬の唱歌を読む。(興味に応じて冬にまつわる他の唱歌を集めても良い。) 2 冬から広がるイメージや季節の移り変わりについて、感じたことを短歌にする。	●知識・技能 ・近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、今までの学習を生かして、短歌を作ろうとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
2月 (15)	3 今の気持ちを書き残そう 自分を見つめてみよう 8時間(書⑧) 教科書: 6下pp.70～73 ◇事実や経験をもとに, 感じたことや考えたこと, 自分にとっての意味について, 表現を工夫して文章を書くことができる。〈知技: (1)力, B: (1)ア, ウ, オ, (2)ウ〉	1 学習のめあてや課題を確かめる。 2 例示された文章を読み, 筆者がどのような見方や考え方をしているかを話し合う。 3 今考えていることや感じていること, 自分が大切にしていることなどから, 自由に書きたいことを選ぶ。 4 選んだことについて, 事実やエピソード, 自分の思いや考えを, メモに書き出す。 5 メモをもとに, エピソードと自分の考えがつながるように構成を考え, 構成表にまとめる。 6 構成表をもとに, 表現を工夫して文章を書く。 7 書いたものに助言し合い, 推敲する。 8 友達と読み合い, 感想や良いところを伝え合い, 自分の見方や考え方に気付いたり, 思いの深まりを感じたりする。 9 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・自分が感じたり考えたりしたことを文章にまとめる随筆の基礎となる文章の特徴を理解している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において, 経験をもとに, 感じたことや考えたことから書くことを選び, 自分の思いとのつながりを明確にしている。 ・「書くこと」において, 自分の考えや思いが表れるように, エピソードとなる事実と感想, 意見とを関わらせながら書くなど, 書き表し方を工夫して書いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・自分自身を見つめ直し, 自分が考えていることや感じていること, 自分にとっての意味などを進んで文章に書き, 自分の思いを深めようとしている。
	4 考えを共有するために読もう 国境なき大陸 南極 5時間(読⑤) 教科書: 6下pp.74～83 ◇筆者の体験と意見との関係を捉えて要旨をまとめ, 自分の考えを伝え合うことで, 考えを深めることができる。〈知技: (1)力, ケ, (2)ア, C: (1)ア, ウ, オ, ㏍, (2)ウ〉	1 全文を読み, めあてを確かめる。 2 南極のイメージや知っていることを出し合う。 3 筆者の経験(事実)と意見との関係を捉える。 4 題名や取り上げられた事例, 筆者の意見をもとに, 要旨をまとめる。 5 読んで理解したことをもとに, 自分の考えをまとめる。 6 まとめた意見をもとに伝え合い, 自分の考えを深める。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・考えたことをふまえて, 工夫して音読している。 ・尾括型の文章構成をつかみ, 筆者の経験と意見とを, 原因と結果の関係として捉えている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において, 経験(事実)と筆者の意見との関係から, 要旨や論の進め方を捉え, 自分の考えをまとめて伝え合い, 自分の考えを広げている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・読んで考えたことをもとに自分の考えをもち, 進んで考えを深めようとしている。
	言葉のきまり1 意味をそえる言葉 1時間(知技①) 教科書: 6下pp.84～85 ◇助詞の意味を添える働きについて知り, その意味の違いを理解することができる。〈知技: (1)力〉	1 教科書の例文を比べ, 助詞の意味を添える働きを知る。 2 p.84の課題を通してそれぞれの助詞が添える意味の違いを考え, 友達と確かめ合う。 3 p.85の解説を読み, 「が」と「は」の使い分けや, その働きを知る。 4 p.85の課題に取り組み, 友達と確かめ合う。	●知識・技能 ・文の中での語句の係り方について理解している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで助詞の働きを知り, 今までの学習を生かして, 文の中での語句の係り方を理解しようとしている。
	5 提案する文章を書いて伝えよう 日本の魅力, 再発見 12時間(話聞④書⑧) 教科書: 6下pp.86～93 ◇集めた資料を関係付けながら伝えたいことを明確にした提案原稿を書き, 資料を活用しながら発表し合うことができる。〈知技: (1)力, (2)イ, A: (1)ウ, ㏍, (2)ア, イ, B: (1)㏍, イ, ウ, ㏍, (2)ア〉	1 学習課題とめあてを確かめ, 見通しをもつ。 2 「日本の魅力」について, イメージマップを活用して考えを広げ, 提案するテーマを決める。 3 学校図書館やインターネットなどを活用し, テーマに関する資料を集めたり作ったりする。 4 目的に応じて資料を関係付けたり取捨選択したりして, 自分の提案を支えるための根拠を考えながら, 構成表にまとめる。 5 構成表をもとに, pp.90～91の文章を参考にしながら, 提案原稿を書く。 6 原稿を読み直し, 書き表し方や資料の説明の仕方を考えながら, 推敲する。 7 提案原稿をもとにグループ内で発表し合い, グループの代表を決める。 8 クラス全体でグループごとにポスターセッションの形式で提案し合い, 資料の使い方や述べ方について感想を伝え合う。 9 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・提案原稿を書くための文章の構成や展開など, 論の進め方を理解している。 ・考えを広げてイメージマップにしたり, 集めた情報をグラフ化したりするなど, 情報と情報との関係付けの仕方を理解している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において, 自分の考えを提案するために材料を集め, 分類したり関係付けたりして, 整理している。 ・「書くこと」において, 資料をもとに文章の構成や展開を考え, 原稿を書いている。 ・「書くこと」において, 図表やグラフを使ったり事実と意見とを区別したりして, 自分の考えが伝わるように, 書き表し方を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において, 提案の内容がよく伝わるよう, 資料を活用しながら表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において, 提案を聞き, 話し手の考えと比べながら, 自分の考えを深めている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・自分の考えを提案するために資料を活用し, 読み手に伝わるように工夫して原稿を書いたり, 発表したりしようとしている。
	言葉の泉2 言葉は変わる 1時間(知技①) 教科書: 6下pp.94～95 ◇世代や時代により言葉が変化することを理解することができる。〈知技: (3)ウ〉	1 教科書を見て, 文語と口語, 世代や時代による言葉の変化について知る。 2 教科書の例のほか, 身の回りから昔と今の意味の違う言葉を集め, その理由を含めて考える。	●知識・技能 ・時間の経過による言葉の変化や, 世代による言葉の違いに気付いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・積極的に世代や時代による言葉の違いについて関心をもち, 今までの学習を生かして, 言葉を使おうとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
3月 (11)	6 自分と重ねて読もう その日、ぼくが考えたこと 6時間(読⑥) 教科書: 6下pp.96～109 ◇登場人物と自分とを重ね合わせながら読み、表現の効果を確かめるとともに、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。〈知技: (1)カ, ケ, C: (1)エ, ㊦, ㊧, (2)イ〉	1 全文を読み、めあてを確かめる。 2 今まで読んだ物語を振り返り、印象の違いについて交流する。 3 題名や本文の出来事をもとに、全体のあらましをつかむ。 4 終結部の「ぼく」の心情を捉える。 5 場面の出来事や「ぼく」が考えたことを精査し、話し合う。 6 読んで感じたことを自分事として考え、伝え合う。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・今まで学んできた物語構造の特徴との違いに気付くとともに、工夫して音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、物語の出来事と「ぼく」が考えたこととの関係から、作品の全体像をつかむとともに、表現の工夫や設定のユーモアに気付いている。 ・「読むこと」において、読んで考えたことを伝え合い、自分の考えを深めている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・読んで理解したことをもとに、進んで自分の考えを深めようとしている。
	言葉をつないで文を作ろう3 1時間(書①) 教科書: 6下p.110 ◇5年生までに配当されている漢字を使った文を書き、読み返して文を整えることができる。〈知技: (1)㊦, B: (1)オ〉	1 教科書の絵を見て様子を想像し、説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い、課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い、記述の適切さや漢字が正しく使われているかを確かめ合う。	●知識・技能 ・5年生までに学んだ漢字を正しく使って、文を作っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、作った文を読み返して、文を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで提示された漢字を使い、今までの学習を生かして、文を作ろうとしている。
	言葉で遊ぼう 1時間(知技①) 教科書: 6下p.111 ◇言葉の分類ゲームを通して、語句の量を増し、日本語の語彙の豊かさに気付くことができる。〈知技: (1)エ, ㊦〉	1 教科書に挙げられた言葉を確認、それぞれの特徴を見つける。 2 見つけた特徴をもとに、言葉を分類する。 3 考えた分類の仕方を発表し合う。	●知識・技能 ・それぞれの教科で使われる語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 ・6学年までに配当されている漢字を読んでいる。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで語句の量を増し、課題に沿って言葉を分類しようとしている。
	これからのあなたへ 支度 1時間(読①) 教科書: 6下pp.112～113 ◇描写をもとに、作品の全体像や作者の問いかけによるメッセージを想像して読み、象徴されたものの意味や感想を伝え合うことで、自分の考えを広げることができる。〈知技: (1)ク, C: (1)㊧, (2)イ〉	1 「支度」の作品世界を想像し、感想や表現の工夫について出し合う。 2 作品のメッセージや象徴されたものの意味を、想像しながら音読する。 3 詩の問いかけに対する自分の感想や考えを伝え合う。 4 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・繰り返しや比喩などの表現の工夫に気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、作品の全体像や象徴されたものを想像しながら読み、作品のメッセージから感じたことを伝え合うことで、自分の考えを広げている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・作品のメッセージを受け取り、決意を新たに考えてようとしている。
	六年生をふり返って 2時間(書②) 教科書: 6下pp.114～116 ◇一年間の国語学習を振り返り、改めて考えたことや社会に目を向けて、取り組んでいきたいことを考えて書くことができる。〈知技: (1)ウ, B: (1)㊦〉	1 一年間の国語学習を振り返り、学んだことやこれから頑張っていきたいことを友達と話し合う。 2 改めて考えたことや、社会に目を向けて取り組んでいきたいことをメモに書き出し、簡単な構成を考える。 3 一年間や六年間全体を振り返る文章を書く。 4 友達と読み合い、感想を伝え合う。 5 学習を振り返り、中学校で学びたいことを話し合う。	●知識・技能 ・漢字と仮名を適切に使い分け、正しい表記で書いている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、一年間の国語学習を振り返り、改めて考えたことや、社会に目を向けて取り組んでいきたいことから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・一年間や六年間全体の国語学習を振り返り、学んだことを文章にまとめ、中学校での学習へと意欲をつなげようとしている。